

ぶなの森

第87号

令和3年 7月15日発行

発行：社会福祉法人常成福祉会
丹沢自律生活センター
神奈川県秦野市菩提 1711-2

発行責任者：センター長 伊藤崇博
印刷：丹沢自律生活センター
ホームページ：<https://jousei.or.jp>
アドレス：tanzawa@jousei.or.jp

法人役員等の体制

役員の任期満了に伴い、役員が選任され、理事長及び専務理事を選定しました。また、評議員一名の辞任に伴い、後任の評議員が選任されました。

新体制のもと、第五期施設整備計画を具体的に進め、経営基盤の安定と地域に根差した社会福祉事業の積極的な展開をめざしてまいります。

今後ともご指導ご支援を承りますようお願い申し上げます。

(役員)

理事長	藤村和静
専務理事	伊藤崇博
理事	岡西博一
理事	草柳直
理事	清水康行
理事	諏訪部政好
理事	守屋進
監事	春田文夫
監事	山崎一雄

(評議員)

相原学
加藤剛
久保寺邦夫
生川善雄
野地郁年
布川保
町川智康
本谷守
山口浩

(五十音順)

第31回丹沢自律生活センター秋まつりの中止について

毎年恒例の秋まつりですが、菩提自治会連合会と協議した結果、新型コロナウイルス感染症に係る諸状況を考慮し、今年度も中止とさせていただくことになりましたので、お知らせいたします。開催を楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんが、健康・安全面を優先して、この度の判断に至りましたことをご理解いただければ幸いです。

季節の行事でリフレッシュしてます

通所では、コロナ禍自粛生活応援企画として毎月1回合同レクを開催しています。たけのこ焼き・手打ちうどん・流しそうめん風など、季節に合わせた行事を楽しんでコロナ禍を乗り切ります！もちろん準備から片付けまで皆で協力しています。



障害者支援施設「丹沢レジデンシャルホーム」

コロナ禍の中、施設内で過ごす時間が今まで以上に増えています。築 30 年を超えた建物の内装については、補修・部材交換などに力を入れ、環境の再整備を進めました。「良い支援は気持ちよく過ごせる環境から」という考えで今も取り組み続けています。

行事については、外出が難しくなっていた為、いつもの行事に賞品や参加賞を用意し競技を盛り上げたり、普段は提供していなかったケーキやお菓子を追加し、少しでも施設生活に彩りを感じていただけるよう考え、好評価をいただきました。事業所ごとの実施となった秋まつりも、普段とは違うコンパクトさがいつもとは違った楽しみの発見につながり、新たな行事のあり方を見出すきっかけとなりました。

生活介護事業所「花鳥デイサービスセンター（旧：丹沢レジデンシャルホーム 通所）」

コロナウイルス予防の為、ボランティアによる編物や絵画などの専門的な知識が必要な活動は、出来る範囲で職員が代行し、カラオケは換気を十分に行い 1 曲ごとにマイクを消毒するなど安全面の配慮に努めました。更に、個別の希望に沿って、歩行訓練や電動車いすの練習やワークセンターへの職業体験などの個別支援の充実にも努めました。また、コロナ禍で自宅や事業所で過ごすことが多くなる人もいます。そこで、感染予防を意識しながら人出の少ない市内の公園を散歩したり南秦野七福神巡りなどを行い気分転換を図りました。法人のお祭りは、残念ながら開催出来ませんでしたが、事業所主催の行事等を開催し、コロナ禍でも利用者間の交流ができるように努めました。



多機能型事業所「秦野ワークセンター」（生活介護・就労継続支援 B 型）

新型コロナウイルス感染防止により地域の行事が開催されず、昨年度の出店は著しく減少しました。特に、陶芸品販売の殆どは地域行事の場であったことから、状況に合わせて生産量を抑えなくてはならなくなりました。一方、マスク需要が高まったことで生産が間に合わない状況となり、利用者総出で作業をすすめ、受注すべてに応じることが出来ました。このことにより事業所内の連帯感や作業への達成感を得られる結果となりました。改めて、利用者、職員の努力に感謝しています。



レクリエーション活動では、自粛生活応援レクとして恒例の筍焼きやどんと焼きに加え、花鳥デイサービスセンターと合同で手打ちうどんにも挑戦しました。自分たちで作ったうどんは格別でとても良い思い出となりました。

社会貢献活動として、ペットボトルキャップ回収の協力や激甚災害指定された 1 件の災害に対して秦野市社会福祉協議会に義援金を贈りました。

生活介護事業所「あじさい」

身体障害と重度の知的障害を重複している方や、医療的ケアのある方を対象に事業運営しており、主に散歩や外出を中心に活動を行っています。

近隣の公園へ出掛け四季を感じたり、市内外へ外出し様々な体験をしています。また、七夕やプール活動、ハロウィンや節分など様々な行事の実施や、ボランティアによるオカリナ演奏会を実施し、人との交流も楽しんでいます。活動の様子は、写真を撮りあじさい内に掲示をしたり、法人ホームページに載せています。

助成財団を活用し、新しい施設車輛を納車しました。引き続き安全で快適な送迎や外出活動を提供していきます。また、大型空気清浄機も導入し、活動室内の衛生環境の向上にも努めています。今後も新型コロナウイルスの感染防止に努め、密を防ぎながら活動をしていきます。



相談支援事業所「丹沢自律生活センター総合相談室」

障害のある方への基本相談や計画作成を行うとともに、地域移行・地域定着支援にも取り組みました。また、秦野市障害者支援懇話会相談部門をはじめとする各種会議に出席し、相談支援体制整備や地域課題の解決に協力しました。

秦野市障害者権利擁護センター「ライツはだの」では、コロナ禍ではありますが、障害者虐待防止研修の重要性に鑑み、最大限の感染防止策を講じて、外部講師を招いて開催しました。IT 講習会と彩り茶房（障害当事者とご家族のためのサロン）は、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止しています。

湘南西部障害保健福祉圏域地域ナビゲーションセンター事業では、神奈川県の基本指針に則り、ほぼすべての会議を Zoom による WEB 会議としましたが、圏域内市町協議会や各機関と連携し、地域課題に向けて神奈川県に提言しています。また、支援体制充実強化事業により支援困難事例集の作成に協力しました。

秦野市児童発達支援事業「たんぽぽ教室」

2歳から5歳のお子さんが、保護者の方と共に一年を通じて楽しみながら、7名から8名の集団生活の体験を積み重ねています。それぞれが、就園や就学をスムーズに進んでいけるようにプログラムを設け支援しました。また、進路説明会や勉強会等の開催など、様々な生活の相談に応じて子育てする保護者を支えることができるよう努めました。昨年度は54名の方が利用し、今年4月にはそれぞれのお子さんが新たなスタートをされています。



日中一時支援事業所「ときの家」

障害のある児童の方々に放課後の支援や家族のレスパイトの場としてご利用いただいています。昨年は新型コロナウイルスに伴う休校や多くの方の生活様式に変化が生じていたため、個々の状況に沿って安全で柔軟なサービス提供となるように努めました。また、活動時は、感染症予防に万全な体制を取りながら、事業所周辺の自然環境を活かして散歩をするなど、季節を感じられるように過ごしました。散歩中の地域の方々とのコミュニケーションも楽しみの一つでしたが、もう少しがまんが必要です。

居宅介護事業所「花鳥地域生活支援センター」



市内在住の障害のある方のご自宅に訪問し、入浴介助や洗面・着替えなどの身体介護、調理や清掃などの家事支援、病院へ受診する際の通院介助など、一人ひとりが必要とするサービスを提供しています。昨年度は、ヘルパーが新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して支援に努めました。また、利用者の身体状況やその家族の状況にも配慮し、生活上の困りごとや制度相談などにも応じることで、家族が快適で安全な在宅生活となるよう意識し、必要時には各種関係機関と連携を図りサービスの提供に努めました。

地域福祉拠点「とかわサポートセンター」

地域の中にある福祉拠点として、地元とのつながりを意識し、障害のある方だけでなく、子供から高齢の方まで、誰もが住みやすい環境を共に創っていくことを目的に地域の方と委員会を設け活動しています。現在、地域に顔見知りを作る企画や地域行事への協力、活動室を開放し、地域の方のコミュニティーの場を提供しています。しかし、昨年初めから新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言発令及び宣言解除後の感染予防の為、活動を大幅に自粛いたしました。年度途中に活動の開始を一部行いましたが、年明け2度目の緊急事態宣言発令により積極的に活動することが出来ませんでした。改めて、地域福祉拠点の活動の大切さを感じました。

ワークセンターからのお知らせ

布団が干せない梅雨の時期に、専門機器で6か月間効果が持続する加熱・抗菌・消毒処理で、ふんわりと仕上がった布団で安眠は如何ですか？ご自宅まで布団をお預かりに伺い、その日のうちにお届けします。

ご用命は電話にてお気軽にご相談ください。

☎ 0463-75-3343

キラッと光るひとたち (第4回)



丹沢レジデンシャルホームは開所から30周年を迎えた身体障害のある方の入所施設です
今回は3交代勤務で24時間の暮らしを支えている大澤さんにお話をきいてみました



Q…福祉の仕事を選んだきっかけは？
A…人見知りを克服したかったからです(笑)。
人の役に立つ仕事があったし、そのために上手に話せるようになりたいという思いをずっと抱いていました。立花高校の先輩が入職した事や、担任の先生から勧められたのも大きかったですね。
Q…どんな時に仕事のやりがいを感じますか？
A…毎日、仕事が上手くいく訳ではないですがやっぱり居住者さんの笑顔が見られた時は楽しいなと思うし、そういう瞬間にやりがいを感じますね。

Q…今後の目標を教えてください。
A…入職して数年経ちました。やりたい仕事も増え信頼度もUPしてきました。人と関わることが大好きな私は、信頼関係を築く過程にとっても幸せを感じています。何気ない日常の業務を通して、居住者の皆さんと触れ合うことを楽しみながら働いています。
今後は、更に色々な業務を任せてもらえるようになりたいので、介護福祉士や運転免許の取得に挑戦しスキルアップしたいです。私の目標は、誰よりもチャームインクでポジティブな介護士になることです。

大澤裕美さん

(職歴) 丹沢レジデンシャルホーム 在籍9年

(趣味) コスプレ・ソーシャルゲーム・映画鑑賞・アニメ・漫画・献血



あ と が き

新メンバーになって初発行です。常成福祉会のことを少しでも知ってもらえるように頑張ります。



令和2年度 財務諸表について

令和2年度の財務諸表を添付しております。詳細および他の報告書類につきましては当法人ホームページまたはWAMNETをご覧ください。